



子供の未来応援基金（平成27年12月一般質問）

最後に、**民間の応援による子育て支援**についてお伺いします。

私は常々、子供たちが健全に育つための環境をつくるためには、**十分な財源**が必要だと思っています。

県では、深刻化する森林を、健全な姿で次の世代へ引き継ぐため、10年前から森林の整備を目的とした「やまぐち森林づくり県民税」を導入し、県民の皆様に幅広く税負担をお願いしています。

先駆的な大変すばらしい取り組みであると思いますし、同様の仕組みを、子育て施策にも活用できれば、子育て家庭に温かい支援ができるのではないかと考えておりました。

こうした中、2015年4月2日、国において「**子供の未来応援国民運動**」が発足し、安倍総理をはじめとする方たちの発起人集会が行われ、民間資金を核とする基金をつくろうという趣意書が採択されました。

そして10月1日、「**子供の未来応援国民運動**」が始動し、我が国の明るい未来を切り拓くために、**子供たちが夢と希望を持って成長していける社会の実現**を目指して、「未来への投資」のための寄附金制度が始まりました。

この「子供の未来応援基金」は「積極的に人材を育成していくための仕組みづくり」に活用されるようであり、大きな期待をしているところです。

そこでお尋ねします。山口県として、このような国の政策とあいまって、民間の応援により、子育て支援に係るNPO等の裾野の広いきめ細やかな取組を支援する仕組みづくりを検討すべきと考えますが、ご所見をお伺いいたしまして、私の一般質問を終わります。ご清聴まことにありがとうございました。

<小松一彦健康福祉部部長 答弁>

次に、民間の応援による子育て支援についてのお尋ねにお答えします。

県では、これまで、社会全体で子どもや子育て家庭を支える環境づくりを進めるため、地域や企業、関係団体等で構成する「やまぐち子育て連盟」を中心に、各地域における子育て県民運動地域コーディネーターの活動促進や子育てサークルの表彰などに取り組んできたところで

す。

その結果、各地域において、NPOなど民間の自主的な子育て支援活動が活発化してきたところですが、こうした民間の活動団体は、その母体が小さく運営基盤が弱いことや、活動費の捻出が難しいなどの課題を抱えています。

これらの課題を解決するためには、お示しの「子供の未来応援基金」の活用に加え、本県独自でも民間の活動を企業等が応援する仕組みづくりが必要であると考えています。

このため、今後、子育て支援に係るNPO等の裾野の広いきめ細やかな取組を民間の資金を活用して支援する仕組みづくりについて、企業等民間団体とも協議しながら、検討してまいります。